

請願文書表（令和2年12月定例会）

受理番号	請第3号
受理年月日	令和2年12月3日
件名	高齢者福祉を充実させ「新しい文庫山学園」を求める請願
請願者	舞鶴市字小倉1163番地 大野翼氏ほか1名 署名721名
紹介議員	西村正之、石束悦子、小西洋一
要旨	<p>【請願の趣旨】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>これまでの文庫山学園の機能を維持・発展・充実させた高齢者施設としての文庫山学園を残して頂きたい。 やむなく移転する場合は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで通り、年金暮らしの高齢者が気楽につどい、利用できる施設として、60歳以上の使用料を無料にして頂きたい。</li> <li>これまで通り、バドミントンなど運動ができる施設を増設して頂きたい。</li> <li>これまで通り、浴室の設置、シャワー・マッサージ機室の施設を造って頂きたい。</li> <li>これまで通り、サークルの備品などを保管できる倉庫を造って頂きたい。</li> </ul> </li> <li>新型コロナウイルス感染対策としても、三密を避け、多様なとりくみができる広い会場・ホールを設置して頂きたい。</li> <li>利用者を増やすため無料の送迎バス回数券、高齢者施設利用割引タクシー回数券を発行して頂きたい。</li> </ol> <p>【請願の理由】</p> <p>文庫山学園は、40年以上にわたって老人福祉センターとして、バドミントンなどのできる運動指導室、栄養指導室、茶室、娯楽室、教養室、大広間、多目的室、図書室、休養室、マッサージ室、更衣室、浴室などを60歳以上の高齢者に無料で開放し、現在、体操教室、健康教室などの事業や囲碁、将棋、カラオケ、卓球、ダンス、絵画など22のサークルがあり、生き生き人生を送る大切な場として、これまでに212万人もの多くの市民が利用してきました。</p> <p>利用者は今回の移転によって、学園が新しくなると期待していたのですが、示された施設の概要は、老人福祉センターといえるものではなく、公民館でもなく、高齢者福祉や公民館活動の後退であり、ただの貸館事業になるといわざるを得ません。しかも有料化するというものです。</p> <p>管理運営基本方針では、利用者の年齢制限を設けず、新たな多世代交流施設として、「生涯学習の場とする」としていますが、今までの文庫山学園のように、高齢者が気楽に交流し、健康教室やサークル活動を通して充実した人生を過ごすための老人福祉施設でなくなることが危惧されており、利用者から大きな不安が出ています。</p> <p>したがって、今までサークル活動や運動、娯楽などで利用してきた多くの人達が、パブリックコメントに計画を見直すよう意見・要望を出しています。市議会としても、高齢者が気楽につどい、利用できる施設として、文庫山学園を残して高齢化社会に適応した、充実した老人福祉施設の位置付けになりますよう検討・議論して頂き、その要望実現に向けて努力して頂きますよう請願致します。</p>
付託委員会	福祉健康委員会